

令和5年度神奈川らくらく介護研修募集要項

1 目的

介護・看護現場において腰痛などによる労働力の低下及び離職などの課題を理解する一助として、「人の力のみで抱えあげない介護・看護」及び「自分にも受ける人にもやさしい介護」に関する考え方の普及並びに保健・医療・福祉現場の専門職を対象に実践的な「持ち上げない」及び「抱え上げない」介護・看護技術の習得を目指します。

2 日時

コース	内 容		日 程
A（基本）	バイオメカニクスに基づく介護者に負担の少ない介助方法	第1回	9月4日（月） 9:00～16:30
		第2回	9月5日（火） 9:00～16:30
B（実践）	理学療法士と学ぶ移動・移乗介助技術	第1回	9月27日（水） 9:00～16:30
		第2回	9月28日（木） 9:00～16:30

（第1回、第2回は同じ内容）

3 受講対象者

保健・医療・福祉業務に従事する者（看護補助者を含む）又は看護・介護教育に従事する者（広く受け入れるため、現在従事していなくても受講可とします）

4 募集人員

各コース各回とも24名程度

5 会 場

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター（横浜市旭区中尾1-5-1）

（※社会状況等により開催が困難であると見込まれる場合は、オンラインに変更、または中止することがあります。）

6 内 容

Aコース（基本）

9:00～9:05	オリエンテーション	当センター職員
9:05～16:30	バイオメカニクスを基に人の動きを理解し、介助者に負担の少ない介助方法を学ぶ。 1 講義及び実技演習（全介助や配慮を要する場合の方法） 2 質疑応答	当大学保健福祉学部リハビリテーション学科 准教授 島津 尚子 氏

Bコース（実践）

日 程	研 修 内 容	講 師
9:00～9:05	オリエンテーション	当センター職員
9:05～16:30	Aコース（基本）を踏まえて、人の自然の動きを活用して、人の持つ力を利用した介護技術を学ぶ。 1 講義及び実技演習 2 グループワーク（それぞれの現場での移動移乗の困難事例を持ちより、学んだ技術をどう生かせるか検討する。） 3 質疑応答	神奈川リハビリテーション病院 理学療法科 科長 平田 学 氏

## 7 申込方法

実践教育センターホームページ教育研修「神奈川らくらく介護研修」ページ

([https://www.kuhs.ac.jp/jissen/study/details\\_00126.html](https://www.kuhs.ac.jp/jissen/study/details_00126.html)) に掲載の申込フォームに従って、必要事項を入力のうちお申込みください。

※センターからの返信メールが受信できる設定にしておいてください。

※申込み後、リターンメールが届いていることをご確認ください。

## 8 申込期間

内 容	申込期間	受講決定時期
各コース、各回共通	令和5年6月30日（金）～7月13日（木）	7月下旬

## 9 受講決定及び結果通知等

### (1) 受講決定

申込者が募集人員を超過した場合は、申込者が入力したフォームメールの内容に基づき選考します。選考基準は次のとおりとし、各コース各回別に①から若い番号順に選考し決定します。

- ① フォームメールの入力内容に不備がない者
- ② 先着順
- ③ 神奈川県内在住又は在勤者
- ④ 同一所属からの複数申込は原則として4名まで（同一コースにおける第1回及び第2回の通算）
- ⑤ 同一コースの第1回及び第2回への重複申込者については、両回とも募集人員を満たさない場合に限り両回の受講を可能とします（両回とも応募者が定員を超過する場合であって、両回とも受講可となる選考結果となった場合に、いずれの回で受講決定するかは当センターの任意とします。）。

### (2) 結果通知

上記選考結果は、申込者全員に、フォームメールに登録されたE-mailアドレス宛に通知します。

### (3) 留意事項

受講決定後の受講者の差替えは不可です。

## 10 受講経費

各コース各回 1,000 円（税込）

## 11 その他

- ・実技を伴う研修です。動きやすい服装でご参加ください。
- ・当センター内に更衣室があります。
- ・センター内では不織布マスクをご使用ください。